

苫小牧市長 岩倉博文 様

アイスホッケー振興に関する要望書

苫小牧アイスホッケー連盟

令和4年度アイスホッケー振興に関する要望について

苫小牧市は、古くからアイスホッケー競技が盛んに行われ、オリンピック選手など日本を代表する選手を数多く輩出しております。

市内にはアイスホッケーリンクが4施設あり、年間約40大会、600試合が行われ、またトップリーグに所属するアイスホッケーチーム「レッドイーグルス北海道」のホームリンクとなっており、アイスホッケーに打ち込める環境が整っている「アイスホッケータウン」と呼ばれています。

苫小牧アイスホッケー連盟は大会運営はもとより関係団体とともにアイスホッケーの普及・強化と競技人口の底辺拡大に向け、全力で努めておりますが、近年は少子化の影響などで選手数・チーム数が激減しており、アイスホッケーを取り巻く環境は厳しい状況となっております。

このような状況下、大会運営等にご協力いただいております苫小牧市に対しまして感謝申し上げますとともに、引続きアイスホッケー振興にご支援賜りたく要望書を提出させていただきます。

令和4年3月15日

苫小牧市長 岩倉博文 様

苫小牧アイスホッケー連盟

会長 岩倉圭彦

1 白鳥王子アイスアリーナの整備について

2030年冬季オリンピック招致（札幌市）に向けた動きが活発となっておりますが、開催決定の際には当アリーナの活用を図るよう国際大会開催に応じた施設整備をお願いいたします。

- 1) トップディビジョン開催時にリンクサイズの可変対応
- 2) 控室の増
- 3) ウォームアップ・クールダウンエリアの整備
- 4) その他世界選手権（国際大会等）開催に必要な施設整備

2 新型コロナウイルス感染予防対策について

昨年8月に開催された、全国高等学校選抜アイスホッケー大会において大規模クラスターが発生、また本年1月に釧路市で開催されたアジアリーグでも大規模なクラスターが発生いたしました。

これらの対応としての日本アイスホッケー連盟では、感染予防対策を講じて大会運営を行うよう各連盟に指示しておりますが、施設の換気については構造的なことから換気扇（扇風機等）で対応している状況です。

については安心安全に利用できる施設として整備をお願いします。

3 競技人口の底辺拡大について

少子高齢化等により、競技人口が年々減少し、市内小中学校では単独チームの編成困難な状況となっております。先の北京オリンピックでは「スマイルジャパン」の活躍によりアイスホッケーに対する認知度は高まったようですが、さらなる競技人口の増には幼児期からスポーツに関わる機会が必要です。アイスホッケーは防具などに多額の費用がかかり、成長期のこどもを持つ親は金銭的負担が大きくなりことから 防具の貸し出し、リサイクル等の環境整備に取り組

んでいただき、また苫小牧市スポーツ協会が行っている「エンジョイスクール」
等への助成をお願いします。